

2025年3月期 第2四半期(中間期)

決算説明会

2024年11月19日

株式会社インターネットインフィニティ 〈証券コード:6545〉



INTERNET
INFINITY

Copyright© internet infinity Inc. All Rights Reserved.

目次

1. 経営理念・会社概要	2
2. 2025年3月期 第2四半期(中間期)業績	7
3. 2025年3月期 通期業績見通し	19
4. 成長戦略	26

(参考資料)

1. 経営理念・会社概要

健康な未来

世界に類を見ない超高齢化社会における課題を
創意革新と挑戦によって解決し、
すべての世代が安心していきいきと活躍し続けられる
健康な未来を目指します

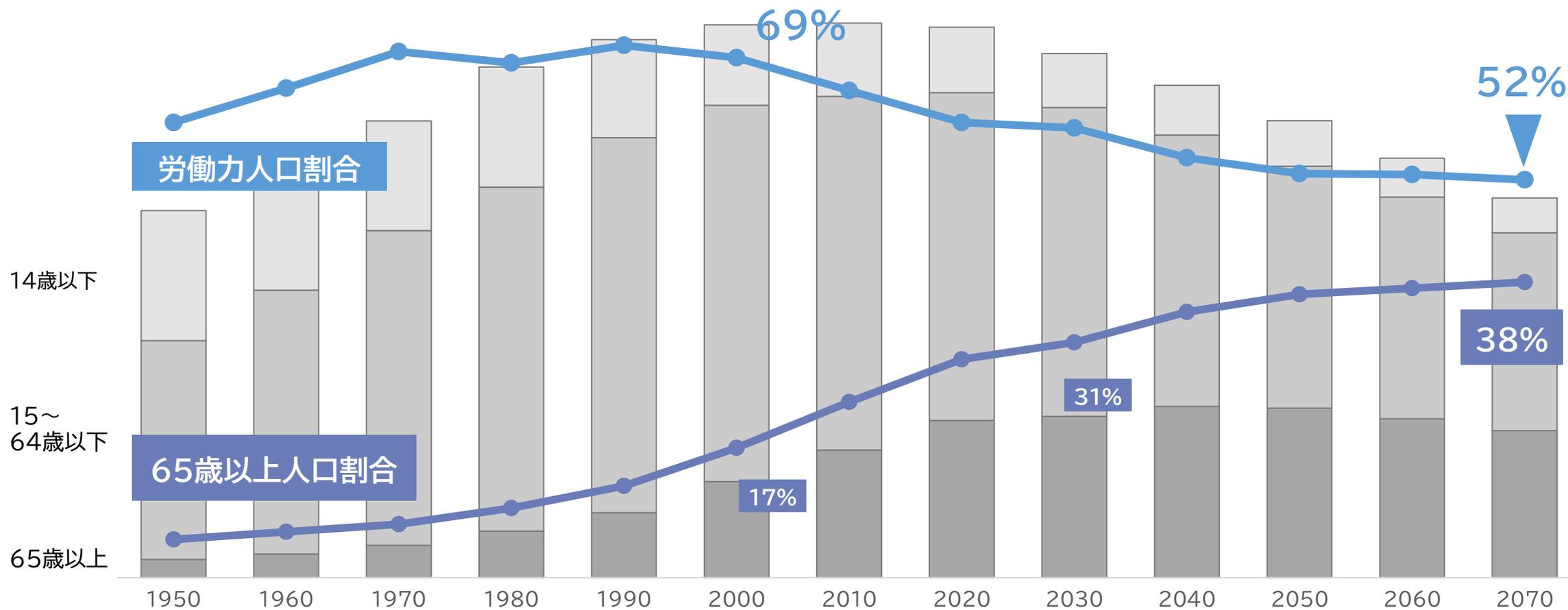
会社概要

設立	2001年5月7日	
事業内容	レコードブック事業 アクティブライフ事業 Webソリューション事業 在宅サービス事業	リハビリ型デイサービスの運営 福祉用具貸与・住宅リフォーム 高齢者向けマーケティング支援、仕事と介護の両立支援 訪問介護、居宅介護支援、通所介護、施設介護
従業員数	連結357名(2024年9月30日現在)	
上場市場	東京証券取引所 グロース市場 (証券コード 6545)	
連結子会社	株式会社レコードブック 株式会社フルケア 株式会社正光技建 株式会社カンケイ舎	

超高齢社会における課題

高齢者数の増加により、日本は**社会保障費の増大**、**医療・介護人材の不足**、**労働力不足**の3つの重大な課題を抱える

2025年問題: 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることによる介護や医療などの社会保障費の急増
 2040年問題: 高齢者人口の割合がピークに達し、医療や介護の需要が増加する一方、介護人材の不足が深刻化



高齢化の推移と将来推計

出典: 内閣府「令和5年版高齢社会白書(概要版)第1節高齢化の状況」

事業領域

社会保障費の増大、医療・介護人材の不足、労働力不足の課題を解決するべく、BtoCとBtoBの両面で、幅広い対象をターゲットに健康な未来を創るための事業を展開



2. 2025年3月期 第2四半期(中間期)業績

業績サマリー

単位:百万円 ()内は利益率	2024/3期 2Q 実績	2025/3期 2Q 実績	増減率	主な増減理由
売上高	2,434	2,619	+7.6%	アクティブライフ+117、在宅サービス+50、Web+19、レコードブック▲2
営業利益	60 (2.5%)	224 (8.6%)	+271.3%	レコードブック+68、本社+36、アクティブライフ+29、在宅サービス+19、Web+9
経常利益	71 (3.0%)	227 (8.7%)	+217.1%	【営業外収益の減少理由】 事業譲渡益▲5
親会社株主に帰属する 中間純利益	33 (1.4%)	143 (5.5%)	+322.4%	
ROE (%)	5.3	20.4		
EPS (円)	6	26		

※ 四半期のROEは年率換算

セグメント別実績

2024/3期 2Q

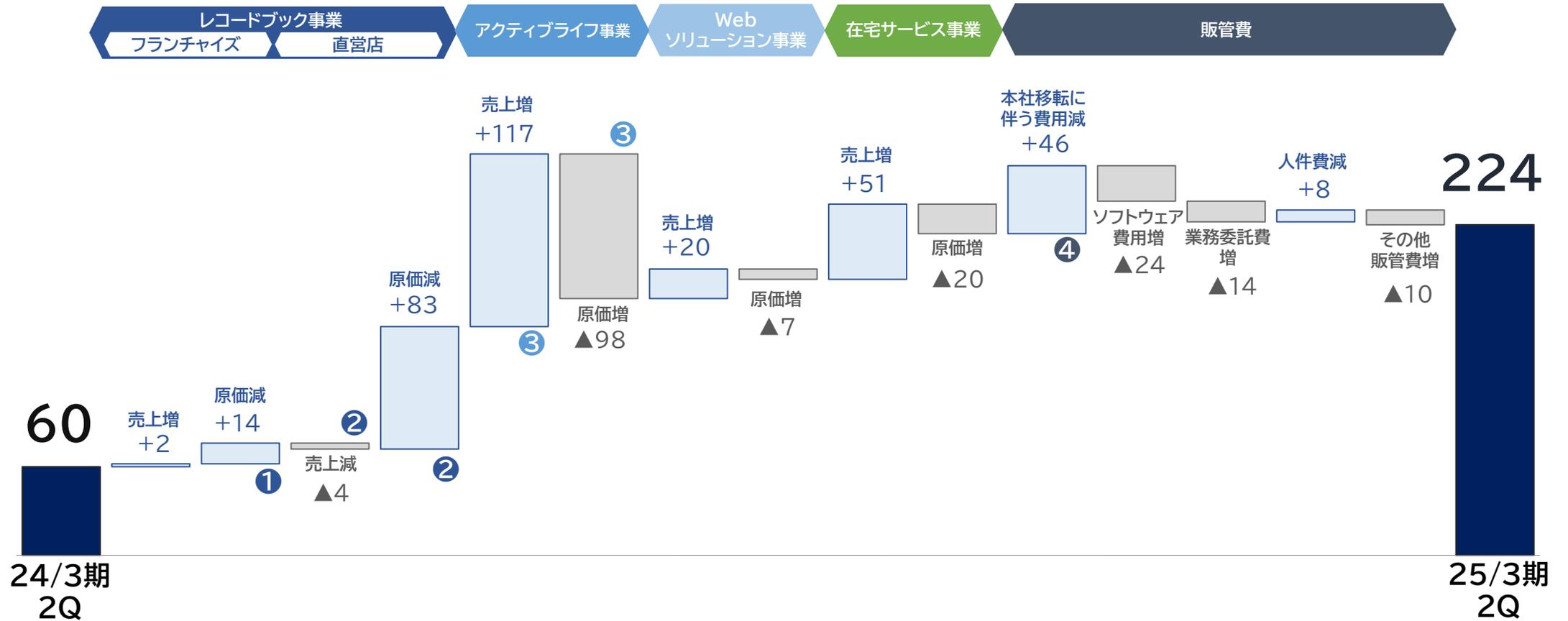
2025/3期 2Q

増減額

(単位:百万円)	売上高	構成比	営業利益※	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	1,662	68.3%	155	1,797	68.6%	263	+135	+107
レコードブック	925	38.0%	124	923	35.3%	192	▲2	+68
直営店	542	22.3%	42	537	20.5%	118	▲4	+76
フランチャイズ	383	15.8%	81	385	14.7%	73	2	▲8
アクティブライフ	594	24.4%	7	712	27.2%	37	+117	+29
Webソリューション	141	5.8%	23	161	6.2%	33	+19	+9
シルバーマーケティング	60	2.5%		59	2.3%		▲1	
仕事と介護の両立支援	69	2.8%		70	2.7%		+1	
メディカル	11	0.5%		31	1.2%		+19	
■在宅サービス事業	771	31.7%	177	822	31.4%	197	+50	+19
通所介護	231	9.5%	61	248	9.5%	66	+16	+4
訪問介護	240	9.9%	70	257	9.8%	76	+16	+6
居宅介護支援	175	7.2%	47	182	7.0%	48	+6	+1
施設介護	122	5.0%	▲1	134	5.1%	6	+11	+7
調整額	-	-	▲272	-	-	▲236	-	+36
合計	2,434	100.0%	60	2,619	100.0%	224	+185	+163

※前年同期の営業利益には、各セグメントに本社移転に伴う一時的な費用(合計▲27百万円)を配賦

営業利益増減分析



- ① 主に一部フランチャイズ契約における、当社負担の地代家賃・減価償却がプラン変更等に伴い減少
- ② FC譲渡や閉店で店舗数減少・新入社員の入社人数が昨年比減により売上高・売上原価ともに減少
- ③ フルケア・正光技建で大型案件受注等により増加
- ④ 本社移転により固定費が削減。昨年同四半期の移転に伴う一時的な費用負担が当期はなくなったため

売上高・営業利益推移

point

◆ 分社化により、レコードブック事業を株式会社レコードブックへ移管

直営店 稼働率向上により、前年同四半期比で売上、営業利益はともに増加

フランチャイズ 利用者数増加等によりロイヤルティ収入は前年同四半期比で増加

売上高

923百万円

(前期比▲0.2%)

営業利益

192百万円

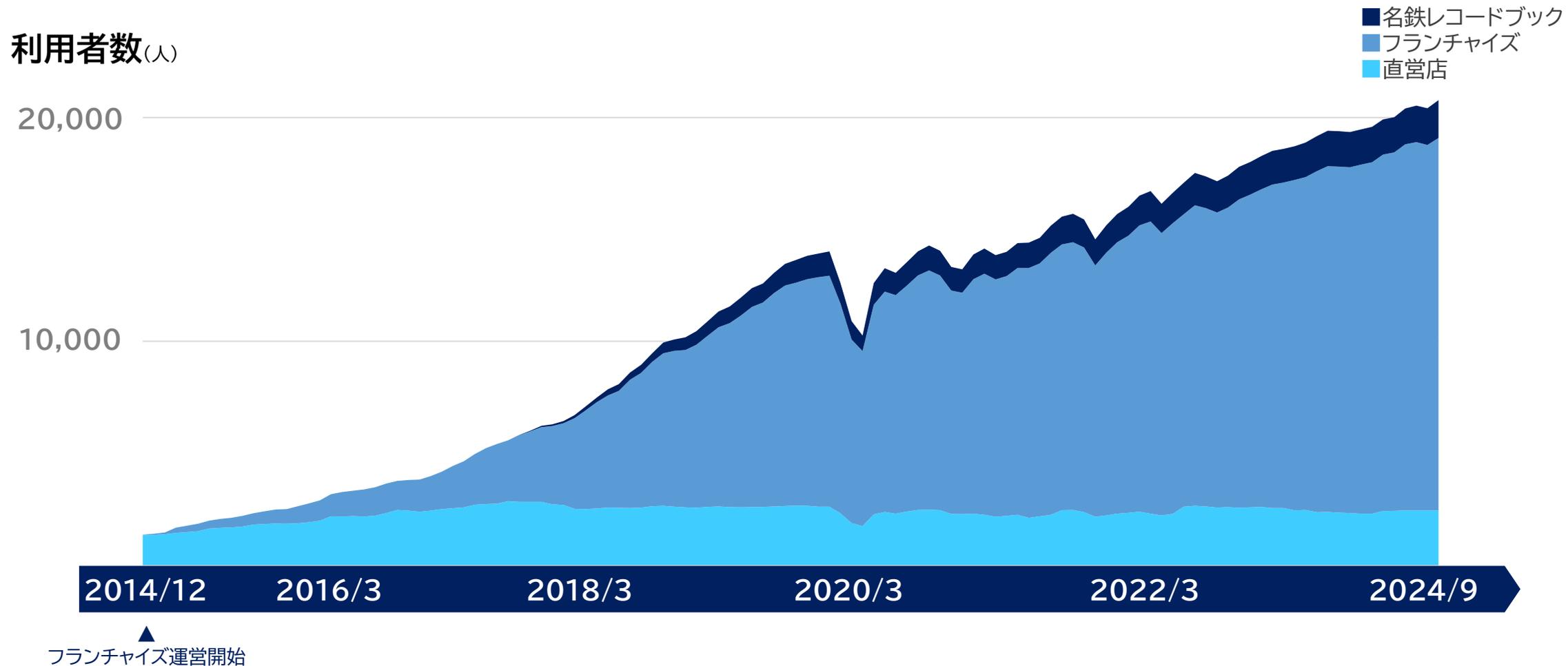
(前期比+54.8%)



レコードブック利用者数推移

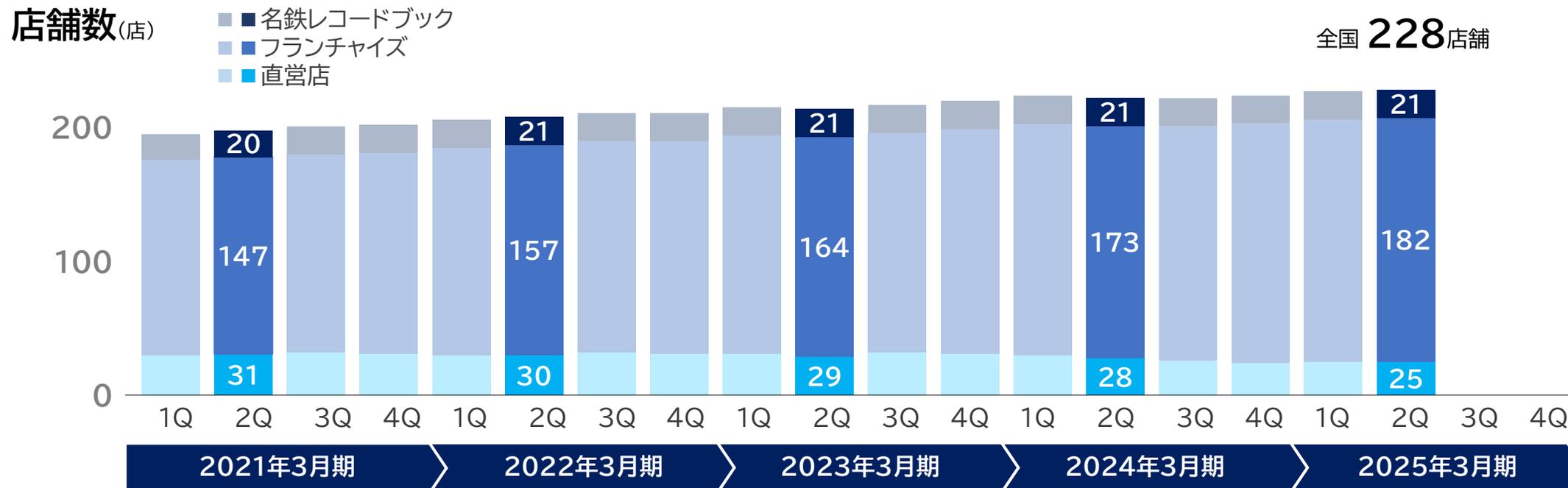
2024年5月 月間利用者数が20,000人を突破

既存店舗の稼働率向上と新規出店を継続し、今後も利用者数増加を見込む



レコードブック店舗数推移

上期の新規出店数は、例年よりも若干減少。
下期は新規出店が増加する見込み。(10月には4店舗開業済み)



新規	9	3	4	2	4	3	3	0	5	3	4	4	5	1	2	4	3	1			
閉店	4	0	1	1	0	1	0	0	1	4	2	0	1	3	2	2	0	0			
店舗計	195	198	201	202	206	208	211	211	215	214	217	220	224	222	222	224	227	228			
FC化	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0			
直営化	2	1	1	0	0	2	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0			

売上高・営業利益推移

point

フルケア

福祉用具貸与事業は堅調に推移

カンケイ舎

大型受注獲得など前年同四半期比で受注は増加傾向
引き続き原価率低減に向けた各種施策を推進

正光技建

売上高

712百万円

(前期比+19.7%)

営業利益

37百万円

(前期比+373.2%)



売上高・営業利益推移

point

仕事と介護の両立支援

25年4月の育児・介護休業法改正に向けセミナー等の普及活動を積極的に実施
【当期のサービス提供開始企業】日立グループ4社、東京ガスネットワーク、
伊藤忠人事総務サービス、日本電算機販売

メディカル

全国のケアマネジャー向け疾患啓発施策を企画段階から行う大型案件を獲得

売上高

161百万円

(前期比+14.1%)

営業利益

33百万円

(前期比+42.4%)



売上高・営業利益推移

point

- 通所介護** 看護職員の増員により機能訓練加算の新規取得
- 訪問介護** 既存事業所のサービス提供回数増、6月に船橋市で新規開業
- 施設介護** 入居者数が前年同期比で増加。満床に近い状態で運営

売上高

822百万円

(前期比+6.6%)

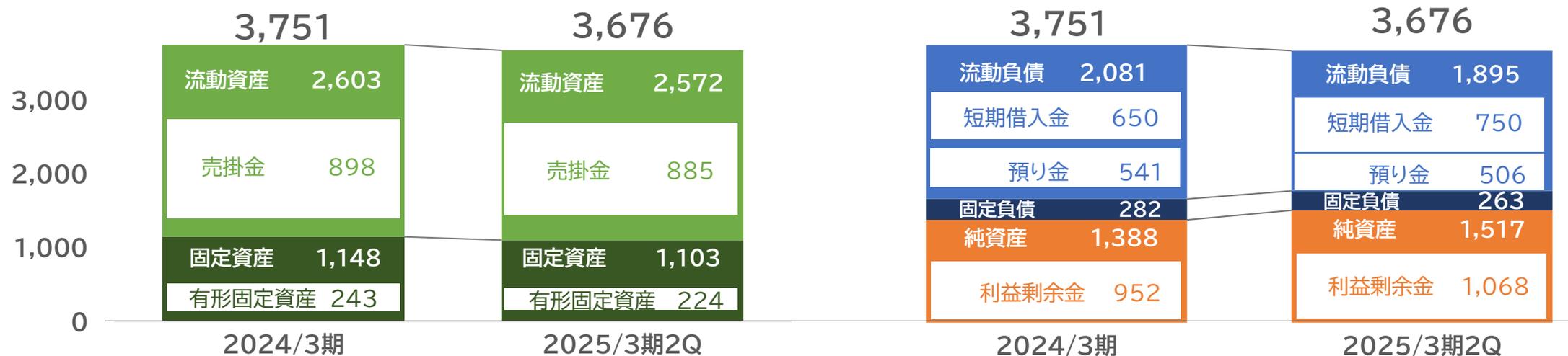
営業利益

197百万円

(前期比+11.3%)



中間連結貸借対照表

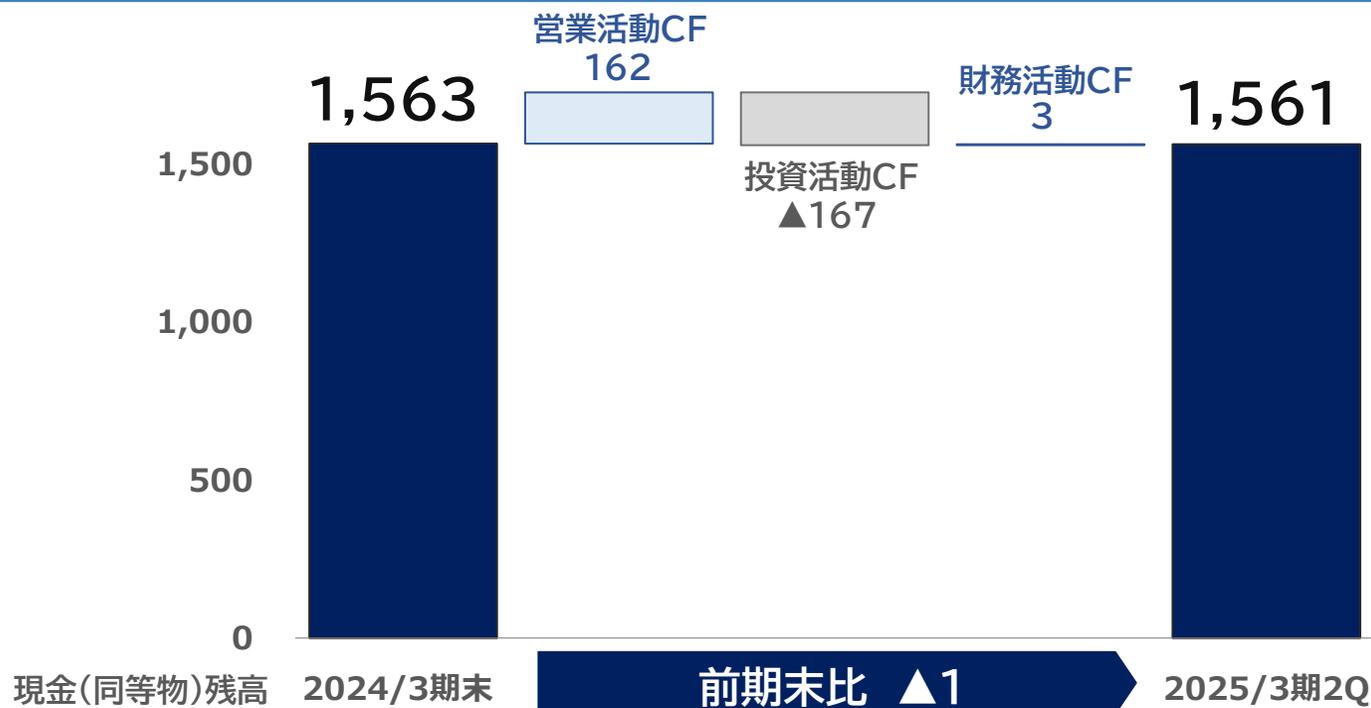


	2024/3期	2025/3期2Q	増減額
流動資産	2,603	2,572	▲30
現金・預金	1,563	1,561	▲1
売掛金	898	885	▲13
その他	140	125	▲15
固定資産	1,148	1,103	▲44
有形固定資産	243	224	▲18
無形固定資産	563	524	▲38
投資その他資産	341	354	+12
資産合計	3,751	3,676	▲74

	2024/3期	2025/3期2Q	増減額
流動負債	2,081	1,895	▲185
短期借入金	650	750	+100
預り金	541	506	▲35
その他	889	639	▲250
固定負債	282	263	▲19
長期借入金	168	149	▲19
その他	113	113	—
純資産合計	1,388	1,517	+129
資本金	252	252	—
資本剰余金	239	239	—
利益剰余金	952	1,068	+116
自己株式	▲56	▲42	+13
負債純資産合計	3,751	3,676	▲74

- ① 手元資金の調整による増加
 ② ソフトウェア製作費支払いによる未払金の減少

中間連結キャッシュ・フロー



	2024/3期2Q	2025/3期2Q	前期比(増減額)
営業活動CF	197	162 ①	▲35
投資活動CF	▲60	▲167 ②	▲107
財務活動CF	▲103	3 ③	+106
現金(同等物)の増減額	33	▲1	▲34
現金(同等物)期首残高	1,107	1,563	+456
現金(同等物)期末残高	1,140	1,561	+421

- ① 調整前中間純利益 227
減価償却費 53
法人税等の支払額 ▲63
預り金の減少 ▲34
その他営業CF ▲21
- ② 無形固定資産の取得 ▲158
その他投資CF ▲9
- ③ 短期借入による収入 100
長期借入金の返済 ▲66
配当金の支払額 ▲26
その他財務CF ▲4

3. 2025年3月期 通期業績見通し

通期業績予想サマリー

各事業の利益率改善により、各段階利益は二桁増益へ
2Qの進捗状況も各事業、概ね順調に推移

単位:百万円 ()内は利益率	2024/3期 通期実績	2025/3期 通期予想	前期比 増減率	2025/3期 2Q実績	通期予想比 進捗率
売上高	4,959	5,102	+2.9%	2,619	51.3%
営業利益	230 (4.6%)	355 (7.0%)	+54.5%	224 (8.6%)	63.1%
経常利益	271 (5.3%)	350 (6.9%)	+29.2%	227 (8.7%)	65.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	130 (2.6%)	204 (4.0%)	+56.6%	143 (5.5%)	70.0%
ROE (%) ※1	9.8	13.8		20.4	
EPS (円) ※2	24	38		26	
1株当たり配当 (円)	5	8			

※1 四半期のROEは年率換算

※2 通期予想のEPSは当四半期における自己株式の取得及び処分による影響を考慮

セグメント別見通し

レコードブック事業、アクティブライフ事業を中心に増益

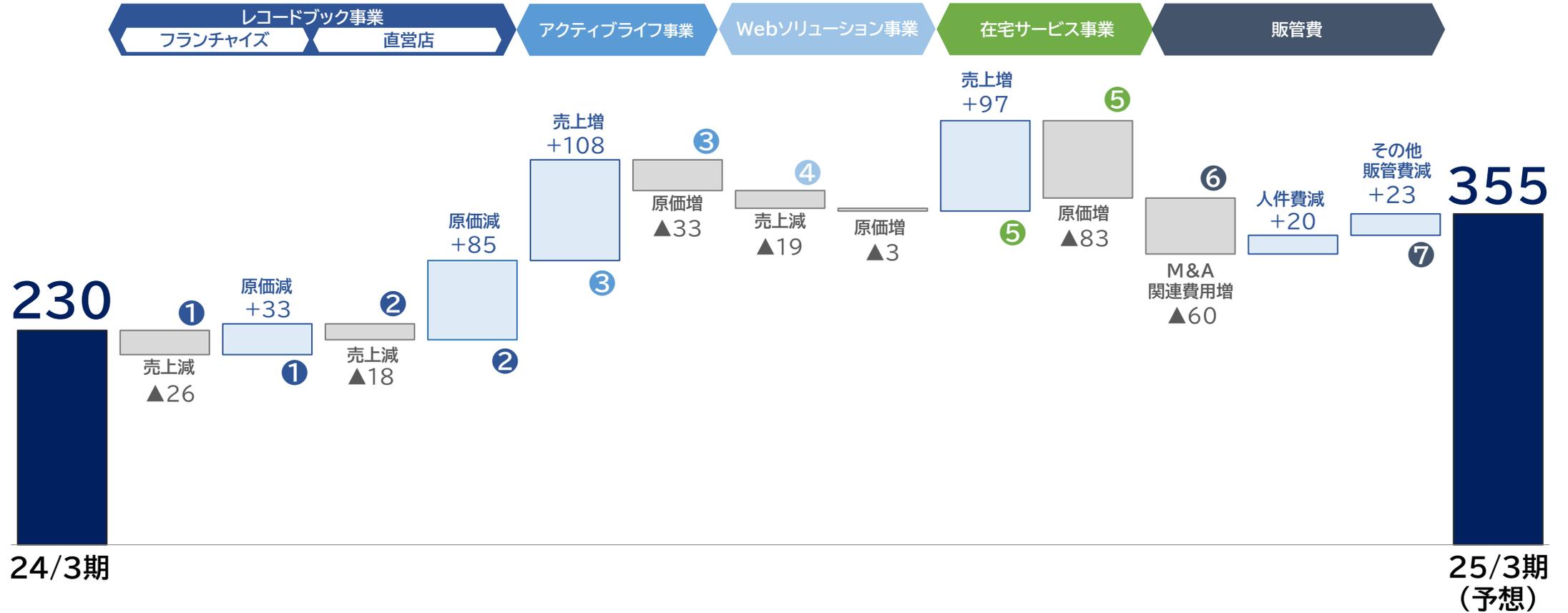
2024/3期実績

2025/3期見込

増減額

(単位:百万円)	2024/3期実績			2025/3期見込			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	3,414	68.8%	421	3,460	67.8%	600	+45	+179
レコードブック	1,820	36.7%	292	1,776	34.8%	433	▲44	+141
直営店	1,043	21.0%	118	1,027	20.1%	213	▲16	+94
フランチャイズ	776	15.7%	173	749	14.7%	220	▲27	+47
アクティブライフ	1,256	25.3%	34	1,365	26.8%	100	+108	+66
Webソリューション	337	6.8%	95	318	6.2%	66	▲18	▲28
シルバーマーケティング	152	3.1%		126	2.5%		▲25	
仕事と介護の両立支援	143	2.9%		141	2.8%		▲2	
メディカル	41	0.8%		50	1.0%		+8	
■在宅サービス事業	1,544	31.2%	339	1,642	32.2%	359	+97	+20
通所介護	463	9.3%	113	470	9.2%	110	+7	▲3
訪問介護	493	9.9%	147	555	10.9%	158	+62	+11
居宅介護支援	344	7.0%	84	366	7.2%	93	+21	+9
施設介護	243	4.9%	▲6	249	4.9%	▲3	+6	+3
調整額	—	—	▲530	—	—	▲604	—	▲74
合計	4,959	100.0%	230	5,102	100.0%	355	+143	+125

営業利益見通し増減分析



- ① 主に一部フランチャイズ契約における、当社負担の地代家賃・減価償却がプラン変更等に伴い減少
- ② 稼働率向上と不採算店舗の期中の閉店により増益
- ③ 正光技建で翌期完工予定の大型案件を獲得。仕入れ先の見直し等により原価率低減を推進
- ④ 仕事と介護の両立支援は、25年4月の介護休業法改正に向けて26/3期の契約数増加を目指し、提供サービスの見直しを検討
- ⑤ 各事業で順調に推移し、増収増益。訪問介護事業では営業所を増設予定
- ⑥ 25/3期も新規のM&A等を想定した費用を織り込み済
- ⑦ 24/3期の本社移転により地代家賃等の販管費が減少

セグメント別業績見通しの進捗状況 ①

	通期見通し	進捗状況 (単位:百万円)	point
レコードブック (直営店) 	売上高 概ね計画通り	通期予想 1,027 2Q実績 537 0% 25% 50% 75% 100%	✓ 1店舗当たりの利用者数、サービス提供回数増加により、当四半期までの進捗は概ね計画通り ✓ 稼働率向上により、通期の実績は予想をやや上回る見通し
	営業利益 計画をやや上回る見通し	通期予想 213 2Q実績 118 0% 25% 50% 75% 100%	
レコードブック (フランチャイズ) 	売上高 概ね計画通り	通期予想 749 2Q実績 385 0% 25% 50% 75% 100%	(既存加盟店) ✓ 稼働率好調により、ロイヤルティ売上は順調に推移 (加盟店開発) ✓ 当四半期は1店舗の出店だが、下期は概ね順調に新規開業が進み、前期と同等の12店舗前後となる見込み
	営業利益 概ね計画通り	通期予想 220 2Q実績 73 0% 25% 50% 75% 100%	
アクティブライフ 	売上高 概ね計画通り	通期予想 1,365 2Q実績 712 0% 25% 50% 75% 100%	✓ 既存の福祉用具事業(カンケイ舎、フルケア)は堅調に推移 ✓ 住宅リフォーム事業(正光技建)は大型案件獲得やフルケアとの連携により売上高は計画通り推移。原価率低減に向けた取組みを進める
	営業利益 計画をやや下回る見通し	通期予想 100 2Q実績 37 0% 25% 50% 75% 100%	

セグメント別業績見通しの進捗状況 ②

通期見通し		進捗状況	(単位:百万円)	point
Webソリューション 😊	売上高 概ね計画通り	通期予想 2Q実績	318 161	✓ 2Q終了時点進捗率50%超で計画比で順調に推移
	営業利益 概ね計画通り	通期予想 2Q実績	66 33	
在宅サービス 😊	売上高 概ね計画通り	通期予想 2Q実績	1,642 822	✓ 通所介護事業、訪問介護事業は有資格者の増員により、加算取得が進み、単価が上昇 ✓ 施設介護事業は、満床に近い入居率となっており、前年同四半期比、計画比でも順調に推移
	営業利益 概ね計画通り	通期予想 2Q実績	359 197	
本社 (管理部門等の販管費) 😊	営業利益 概ね計画通り	通期予想 2Q実績	▲604 ▲236	✓ M&A関連の予備費用等を当期中に想定しているため、概ね計画通りに推移

株主還元策

2024年3月期から配当を開始し、2025年3月期は増配予定

■ 利益配分に関する基本方針

- ✓ 資本の健全性や成長投資とのバランスを検討した上で、配当を基本として株主還元を実施
- ✓ 利益成長を通じ、1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を目指し、配当性向20%を目標

■ 配当予想について

- ✓ 上記の基本方針及び当期の増益予想を踏まえ、2025年3月期は3円の増配を計画

基 準 日	2024年3月31日	2025年3月31日
1株当たり配当金	5.0円	8.0円
配当金総額	26百万円	42百万円
配当性向	20.3%	20.7%
配当原資	利益剰余金	利益剰余金

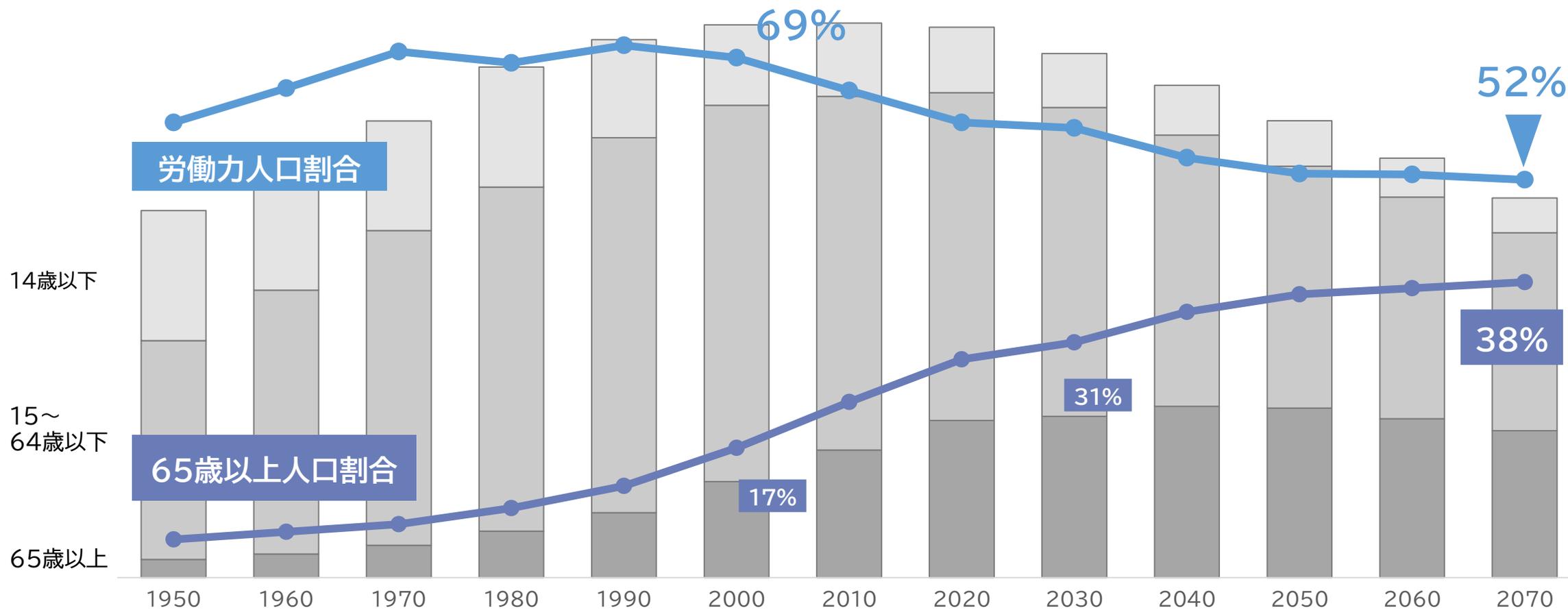
4. 成長戦略

超高齢社会における課題

高齢者数の増加により、日本は**社会保障費の増大**、**医療・介護人材の不足**、**労働力不足**の3つの重大な課題を抱える

2025年問題: 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることによる介護や医療などの社会保障費の急増

2040年問題: 高齢者人口の割合がピークに達し、医療や介護の需要が増加する一方、介護人材の不足が深刻化

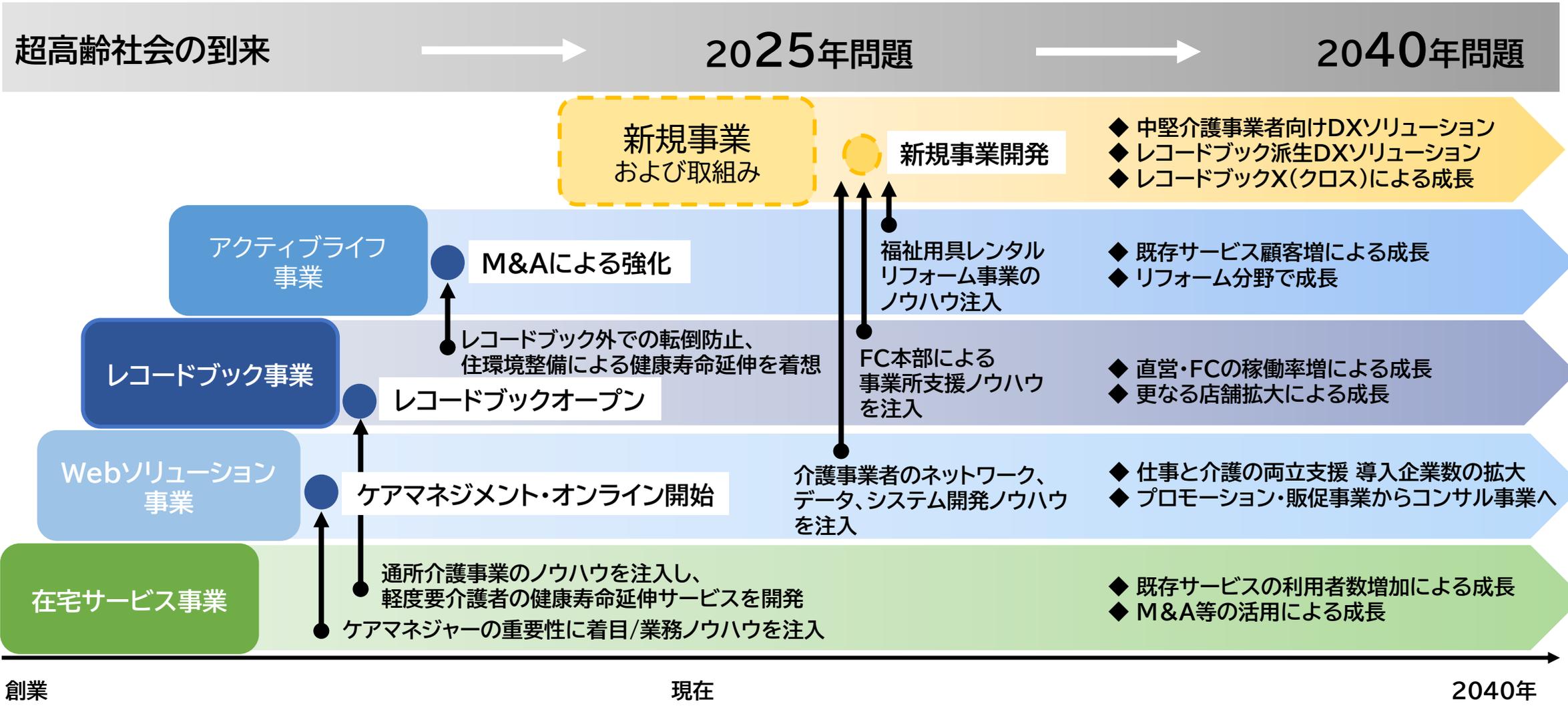


高齢化の推移と将来推計

出典: 内閣府「令和5年版高齢社会白書(概要版)第1節高齢化の状況」

事業別の成長シナリオ

創業来の投資により確立されたノウハウを活用し、社会課題を解決する成長戦略



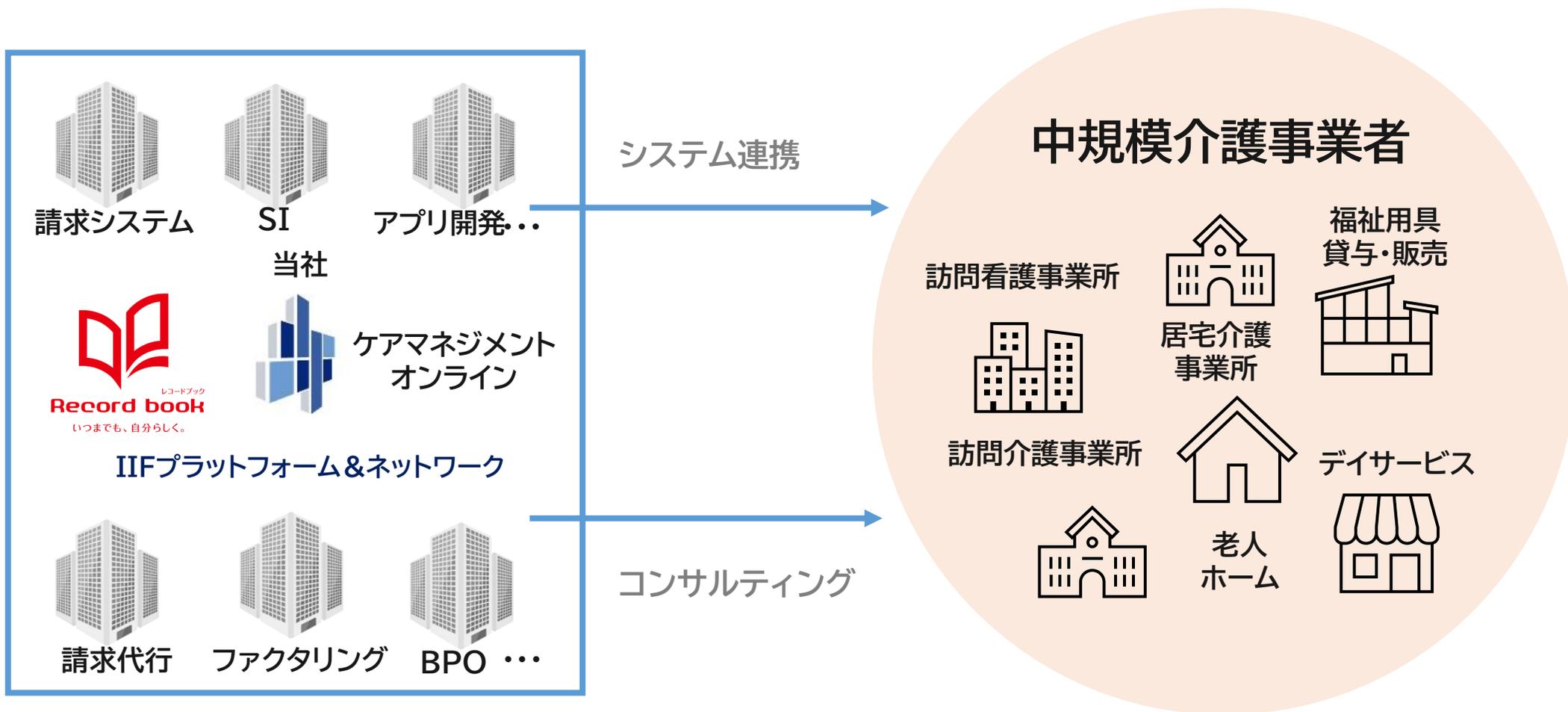
既存事業の成長シナリオ

これまでの投資で確立されたビジネスモデルにより、売上・利益は安定
更なる拡大により、売上・利益成長を実現する。

事業	成長シナリオ
レコードブック	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 直営店及びFC加盟店の稼働率上昇による売上・利益成長。 (全店舗利用者数 26/3月末:21,485人、27/3月末:23,786人、28/3月末:26,791人) (全店舗稼働率 26/3月:67.5%、27/3月:66.0%、28/3月:64.5%)※新店増加による減 (既存店舗稼働率 26/3月:73.5%、27/3月:76.6%、28/3月:79.4%) ◆ 物件開発の課題を解決し、既存FC加盟店の増店速度を加速し、継続して店舗数拡大を目指す。 (26/3月末:236店舗、27/3月末:266店舗、28/3月末:306店舗) ◆ 直営店を段階的にFC化(FC加盟店に譲渡)し、事業の効率化を図る。
アクティブライフ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ スtock売上となる福祉用具貸与件数の増加に注力し、安定的な売上・利益成長を目指す。(フルケア・カンケイ舎) (利用者数 26/3月末:6,299人、27/3月末:6,549人、28/3月末:6,869人) ◆ M&A後の構造改革により売上増加及び原価率低減を図り、利益貢献を目指す。(正光技建) ◆ 両社の連携による住宅改修(リフォーム)案件の増加および単価増を目指す。(フルケア×正光技建)
WEBソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2025年4月の育児介護休業法の改正に伴い、仕事と介護の両立支援サービス導入企業数の拡大を図り、売上・利益成長を目指す。 ◆ シルバーマーケティング支援の既存案件を起点とし、プロモーション・販促事業からコンサル事業へ転換を図り成長を加速する。
在宅サービス	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 既存サービスの利用者数増加による、売上・利益拡大を目指す。 ◆ M&A等の活用により、既存提供サービスのエリア拡大および周辺事業の取り込みを図る。

新規事業（中規模介護事業者向けDXソリューション）

当社が蓄積してきた介護事業運営ノウハウ、各種データ、ネットワークを用いて、介護事業者に対してシステム連携及びコンサルティングサービスの提供により、介護事業者の生産性を向上し、介護人材不足、労働力不足の課題解決を目指す。



2028年3月期目標

■ 財務数値目標

連結売上高

73.9億

(24/3期比 +49%)

連結営業利益

9.8億

(24/3期比 +326%)

連結純利益

5.7億

(24/3期比 +338%)

■ 収益性・効率性目標

営業利益率

13.3%

(24/3期は4.6%)

ROE

22.0%

(24/3期は9.8%)

EPS

108

(24/3期は24)

業績推移及び計画

(単位:百万円)	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	2028/3期
	実績				予想	計画		
売上高	3,468	4,168	4,464	4,959	5,102	5,869	6,831	7,395
営業利益	165	156	96	230	355	530	727	980
親会社株主に帰属する 当期純利益	150	186	33	130	204	309	426	574
ROE (%)	16.1	15.0	2.7	9.8	13.8	17.7	20.2	22.0
売上高営業利益率(%)	4.8	3.7	2.2	4.6	7.0	9.0	10.7	13.3
EPS (円)	27	34	6	24	38	58	80	108

※当社は2022年3月期より連結決算を開始しておりますため、2021年3月期以前については単体の業績を記載しております。

※2026年3月期以降の計画には、在宅サービス事業及び新規事業におけるM&Aによる拡大も含んでおります。

※2025年3月期の予想値は、2024年5月15日開示の決算短信にて開示済の業績予想値で、2026年3月期以降の計画値はこの予想を計画通り達成することを前提としております。なお、四半期ごとの経営指標は決算補足説明資料にて開示いたします。

セグメント別業績推移及び計画

既存事業の安定拡大により、大幅な利益成長を実現。
 加えて、新規事業開発により更なる事業規模、売上拡大を目指す。

	2024/3期		2025/3期		2026/3期		2027/3期		2028/3期	
	実績		予想		計画					
	売上高	営業利益								
(単位:百万円)										
■既存事業										
■ヘルスケアソリューション事業	3,414	421	3,460	600	3,622	754	3,839	902	4,118	1,103
レコードブック	1,820	292	1,776	433	1,854	540	1,992	647	2,196	809
アクティブライフ	1,256	34	1,365	100	1,421	124	1,470	144	1,519	161
Webソリューション	337	95	318	66	345	89	376	110	402	132
■在宅サービス事業	1,544	339	1,642	359	1,896	412	2,152	411	2,175	410
調整額	—	▲530	—	▲604	—	▲674	—	▲688	—	▲707
既存事業 計	4,959	230	5,102	355	5,518	492	5,992	625	6,293	806
■新規事業および取組み					351	37	839	102	1,101	173
総合計	4,959	230	5,102	355	5,869	530	6,831	727	7,395	980

M&A方針

M&Aについては、既存事業の成長に寄与するもの(規模拡大、シナジーが見込める周辺領域、など)か、「2040年問題の解決」に資する領域へのM&Aを積極的に検討していく。

	既存事業	新規事業
領域	<ul style="list-style-type: none"> ① 既存事業の規模拡大に資する領域 ② 既存事業に対し、シナジー創出もしくは補完となる事業領域 ③ 既存リソースを活用し、優位性が維持出来る周辺領域 	<ul style="list-style-type: none"> ① 当社グループが構想するDXソリューションのラインアップに含まれる領域(P.30) ② データ・AI等を活用したソリューション開発領域 ③ 超高齢社会の課題解決に向けた意義ある領域
投資規模	~合計50億円程度 ※EBITDAの5~7倍以下での実施を前提	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ① 原則、赤字でないこと ② 当社グループ全体の業績への影響が、のれん控除後利益でプラスであること 	成長戦略における新規事業の実行に資すること ※売上、利益規模は問わない
原資	現預金及び金融機関による借入をメイン戦略とし、そのほか資本性の調達スキームなど柔軟に検討	

配当方針

中期経営計画を力強く推進することで、利益成長を通じ、
配当性向および1株当たり配当金の増加を目指す

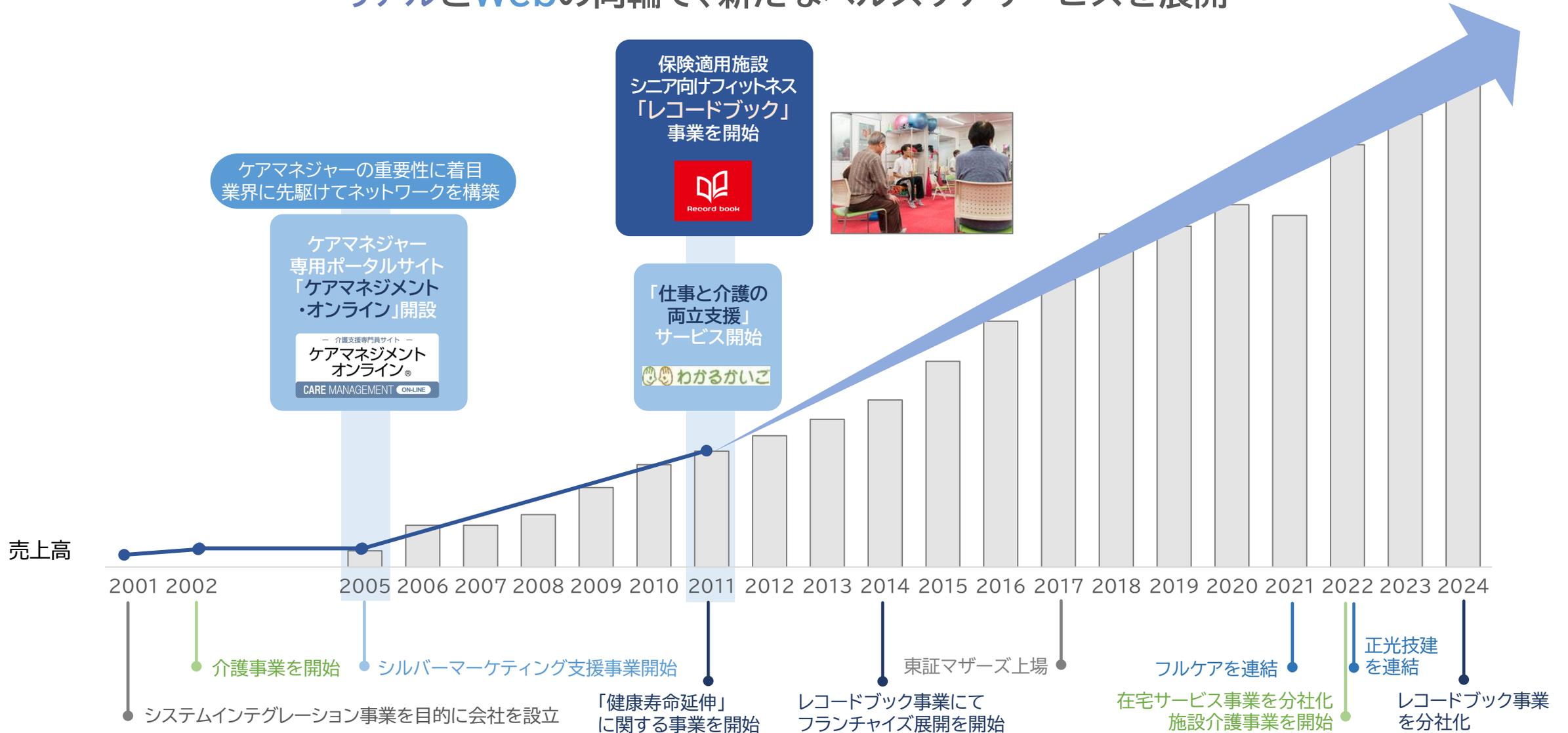
■配当推移

基準日			初配	増配		
	2022年 3月31日	2023年 3月31日	2024年 3月31日	2025年 3月31日
1株当たり 配当金		0円	0円	5.0円	8.0円	●———— 利益成長に伴う増額 を目指す。
配当金総額				26百万円	42百万円	●————
配当性向				20.3%	20.7%	●———— 累進的に配当性向を 高める。
配当原資				利益剰余金	利益剰余金	

(参考資料)

沿革

リアルとWebの両輪で、新たなヘルスケアサービスを展開



レコードブック事業 当社の強み



運動指導に特化した3時間のリハビリ型デイサービス
(主な対象:要支援~要介護2までの介護認定者)



定員 : 各18名(午前・午後)
利用回数 : 1.5~2回/週

レコードブックの 3 つの特徴

「健康でいたい」利用者が積極的に参加
高い会員継続率を実現

1. 介護を感じさせない空間

介護施設を初めてご利用いただく方にも抵抗感なくご利用いただける、フィットネスクラブのような介護を感じさせない外観・内装

2. 専門的な運動指導

科学的根拠に基づき、日常生活動作の継続を可能にする運動プログラム
ご利用者様ごとの身体状況に合わせ、個別の運動指導を実施

3. ホスピタリティ

明るく活動的なスタッフが丁寧で礼儀正しくおもてなしと活気にあふれた空間を演出

主要KPI

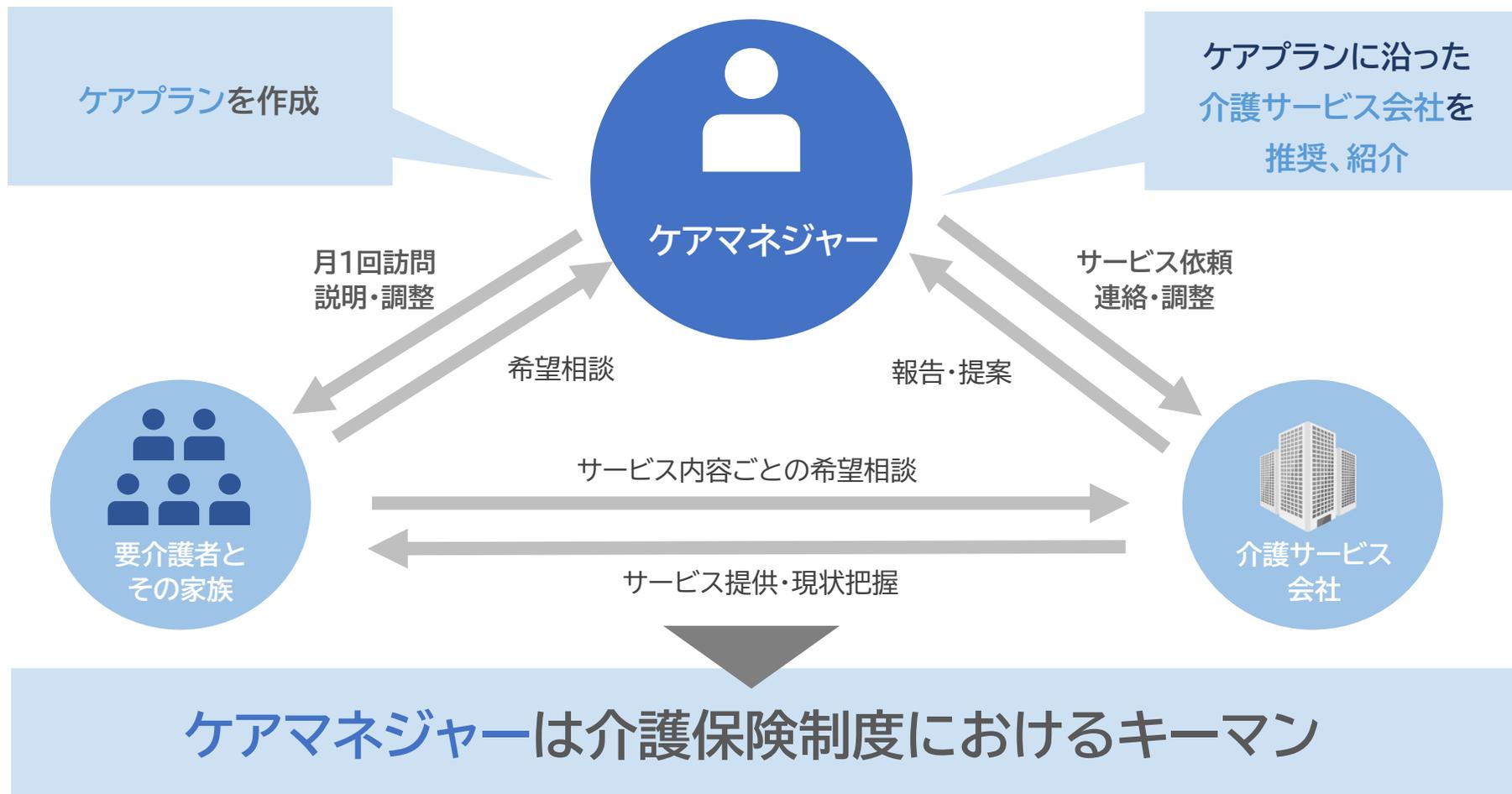
※2024年11月現在

利用者数 **21,000** 人超
店舗数 **231** 店 (直営店 **23** 店 フランチャイズ **186** 店 名鉄レコードブック **22** 店)
26都道府県への出店を達成 うち関東圏に約150店舗出店

~いつまでも自分らしく~ “介護される”から“レコードブックする”へ
誰もが“やりたいことができる自由な人生を楽しむ”を実現する

介護保険制度におけるケアマネジャーの重要性

介護事業所の利用等、介護保険サービスの利用開始には**ケアマネジャーへの依頼が必須**であり
 サービス利用開始後も高齢者・その家族と**月に一度の状況把握**を行っている



10万人超のケアマネジャーが登録する業務支援ポータルサイトを運営 ケアマネジャー業務に欠かせないツールとして定着

業務支援ツール

ケアプラン、介護保険適用申請に必要な帳票などのダウンロードが可能
ChatGPTを活用した書類作成支援ツールを2023年よりローンチ

介護関連ニュースの配信

法改正等の行政情報や介護関係団体・企業の最新ニュースを配信

掲示板機能

全国のケアマネジャーと業務や制度、職場に関する意見交換が可能

事業所検索機能

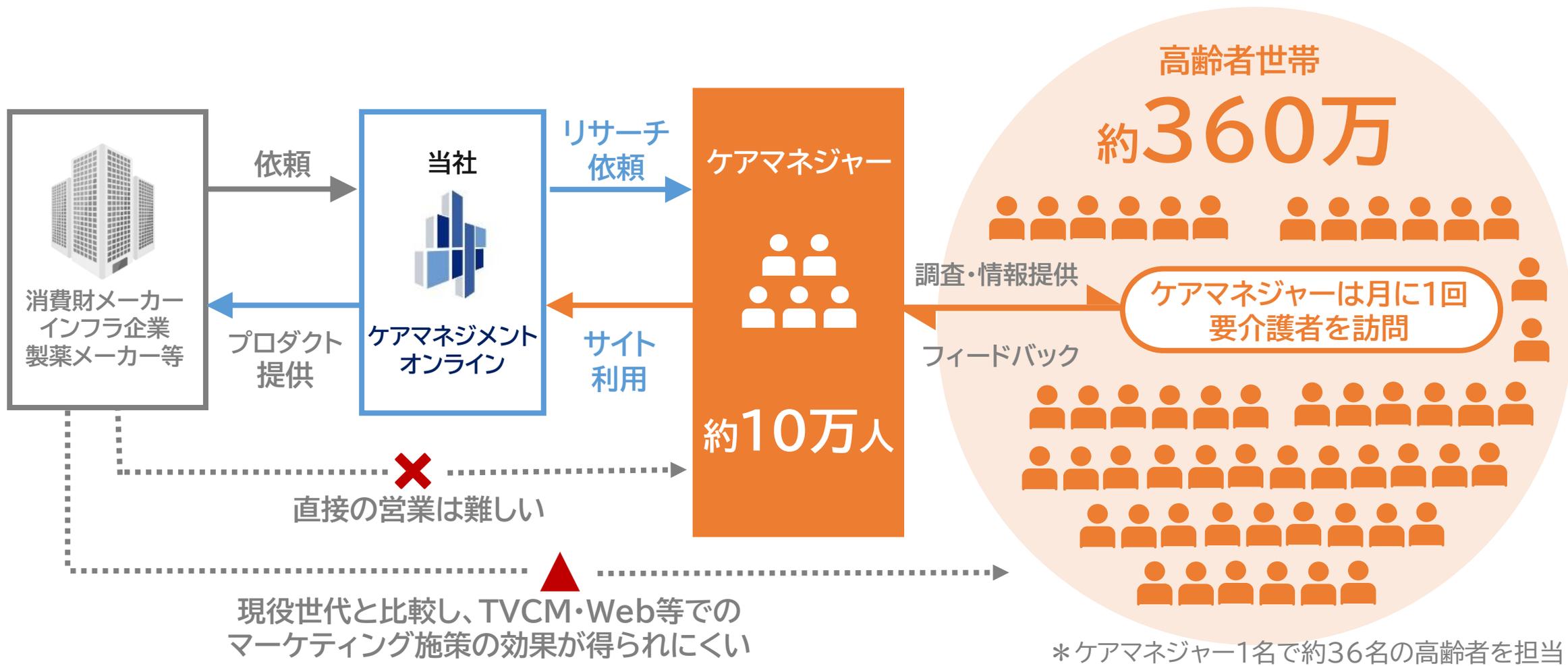
全国の介護サービス事業所情報を口コミ投稿とともに掲載



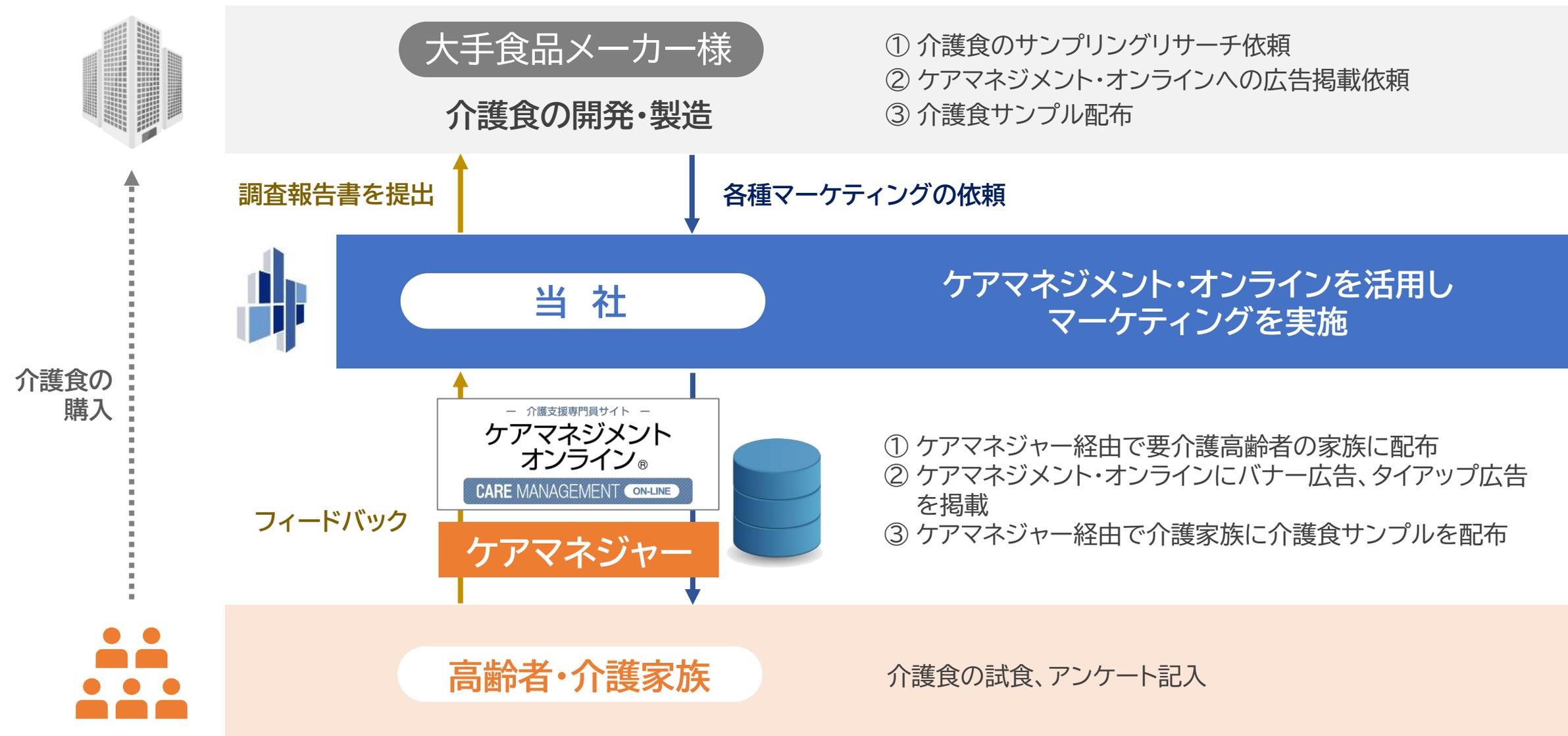
※サイト利用会員総数 約18万人

Webソリューション事業 当社の強み

ケアマネジメント・オンラインのケアマネジャー会員経由で約360万の高齢者世帯へアプローチ
 ケアマネジャーは高齢者世帯と強い結びつきがあるため、効率的で効果の高い施策の実施が可能



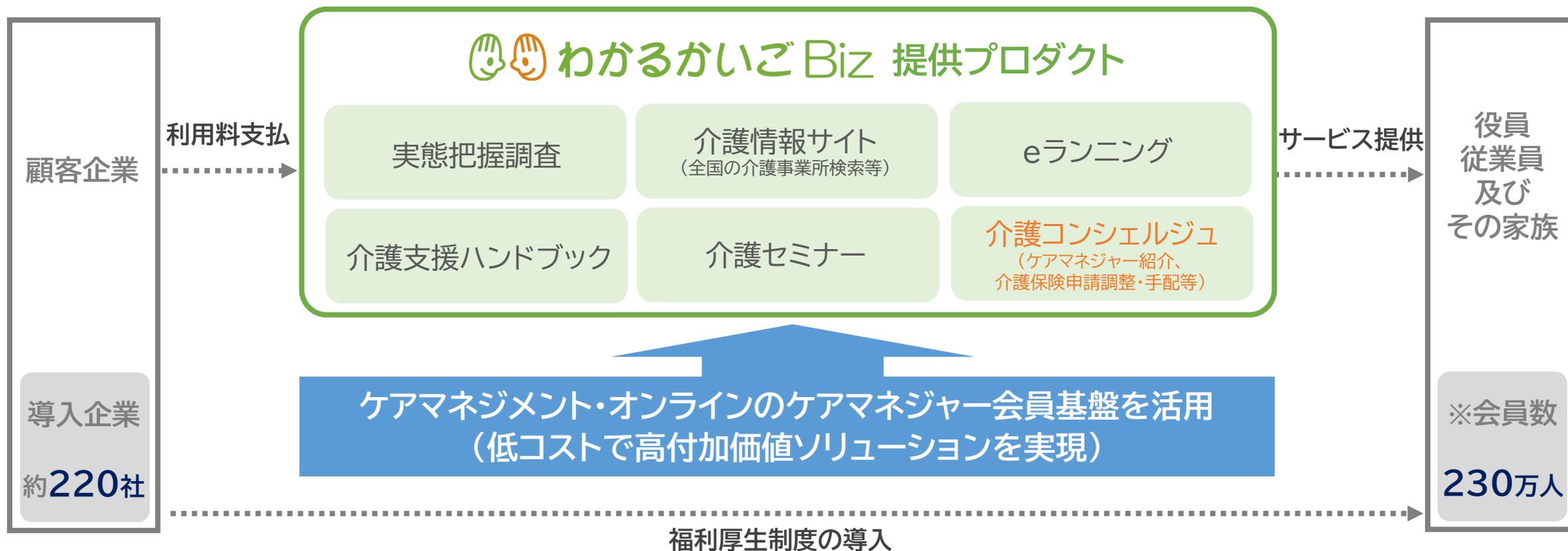
Webソリューション事業 シルバーマーケティング支援（事例）



Webソリューション事業 仕事と介護の両立支援

契約企業の社員向けに仕事と介護の両立支援サービスの提供

2025年4月施行予定の改正育児・介護休業法に対応し、従業員のキャリア継続だけでなく、企業の人的資本経営の実現、人材不足に対するリスクマネジメントの一端を担う。



※年間契約企業 従業員数合計

本資料の取り扱いについて

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部
Email： ir@iif.jp



INTERNET INFINITY

Copyright© internet infinity Inc. All Rights Reserved.